

平成21年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 申込みはインターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成15年度秋季大会より、J-STAGE（科学技術振興機構）を利用して、インターネットによる講演申込受付及びPDFファイル形式による原稿の提出受付をしています。申込については、本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、J-STAGE 利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が各3週間程度に限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：12月11日12:00～1月14日14:00

原稿提出期間：2月3日12:00～2月24日14:00

PDF原稿を作成する際には、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下

さい。

なお、講演概要はJ-Stageにて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

（注意事項）

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますとJ-STAGEの利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフトAdobe Acrobat（4.0以上のバージョン）をご利用下さい。無料配布ソフトAdobe ReaderではPDFファイル作成ができませんので、ご注意下さい。
- ③PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

平成21年度春季全国大会「研究発表」講演募集

— インターネット(J-STAGE)による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

概要集原稿の締切は皆さんのご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分プランクのまま発表されますのでご了承ください。

◇————◇

平成21年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日：平成21年4月22日(水)、23日(木)、24日(金)

開催場所：アルカディア市ヶ谷(東京)

— 講演申込募集 —

1. 申込期間：平成20年12月11日(木) 12:00～
平成21年1月14日(水) 14:00
2. 申込資格：講演者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。
3. 申込方法：前記学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。
◎講演登録料：1件について4,000円をご納入ください。送金は現金書留郵便でお願いいたします。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

※大会参加費(会員2,000円、非会員4,000円、学生無料)は大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集(5,000円)は別売となります。

※受付済通知：J-STAGEより受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

4. 原稿(PDF)提出期間：
平成21年2月3日(火)12:00～2月24日(火)14:00
5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
6. 発表時間：講演10分、討論5分
7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
8. 講演申込の取り消しについて
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
9. 付帯器具の申込み：講演に必要な器具(フィルム映写機、VTR等)は遅くとも大会1カ月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。OHP及びPC用液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。
10. 講演登録料送付先：
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11
溶接学会 全国大会係
電話 (03) 3253-0488

※受付番号を同封して下さい。

※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。



溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考
I	溶接プロセス (含機器)		7 8 9 10 11	新材料接合部の諸特性 セラミックス 複合材料 機能材料 高分子材料 その他：新素材開発	
	1 溶融溶接(1)：アーク溶接，ガス溶接				
	2 溶融溶接(2)：高エネルギービーム溶接				
	3 溶接技術の新しい展開				
	4 新溶接技術				
	5 新熱源開発，同応用				
6 加工技術					
6 其他					
II	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開		IV	溶接・接合部の強度・破壊と設計 1 溶接・接合部の応力 2 溶接・接合部の静的強度 3 破壊靱性，き裂（発生，進展） 4 疲労強度，疲労き裂 5 環境強度，クリープ 6 溶接・接合設計（強度計算など） 7 信頼性，安全性評価 8 劣化診断，寿命予測 9 その他	
	1 センサー，モニタ，計測技術				
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術				
	3 ロボット工学・技術				
	4 自動化，システム化技術				
	5 CAD, CAM, FA				
	6 製品開発				
	7 生産，製造，施工，組立など				
	8 その他：新技術，新システムなど				
	9 品質保証，施工管理				
	10 品質保証，工程設計など				
	11 安全・衛生，教育，訓練				
12 非破壊検査，同機器					
12 其他：生産設備など					
III	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 (含鋼材，溶接材料など)		V	圧接，ろう接プロセス 1 圧接(1)：抵抗溶接 2 圧接(2)：摩擦，超音波，爆接 3 固相接合，拡散接合 4 接着，ウエルドボンド 5 ろう接：ろう付，はんだ付 6 マイクロ接合 7 機械的接合：リベット，ボルト継手など 8 その他：新接合技術 表面改質及び熱加工プロセス (含機器) 9 成膜(1)：肉盛，溶射，めっき 10 成膜(2)：PVD, CVD, イオンミキシング 11 成形：焼結，HIP，鋳ぐるみなど 12 切断，ガウジング，穴あけ加工など 13 その他：焼き入れ，グレージング，封孔処理，新加工技術など	
	1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学				
	2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的性質				
	3 耐食性，耐環境性				
	4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど				
	5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥				
6 その他					

全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版（約2/3）に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A, B）にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙（A）の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙の

コマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにはコマ数（40 字×37 行）だけ打ってください。（全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません）

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺（約 2/3）を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を J-STAGE に（学会ホームページより）アップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

プラズマ溶接の研究

12pt, 明朝体

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機(株) 夏川 春樹

10.5pt

Study on Plasma Welding

10.5pt by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……

10.5pt

↑

1～2字アケル



Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor.

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling.

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor of resistance because

stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

全国大会講演申込手順

〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある「講演申込」をクリックして下さい。講演申し込み画面が表示されます。
2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックして下さい。
入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始して下さい。登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。
3. [登録票／件数入力]の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただきしてから入力を行って下さい。【必】のところは入力されないと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら「次へ」をクリックして下さい。演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ表示するかを指定するものです。
4. [登録票／所属機関]の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力して下さい。
5. [登録票／研究者情報]の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
 - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
 - (2) 「所属」は[登録票／所属機関]で入力したものが表示されます。
選択されたものが誤っている場合は、「戻る」をクリックし、入力をしなおして下さい。
6. [登録票／連絡者情報]の画面では、連絡者に関する情報を入力します。
氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力して下さい。電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメールが送られてきますので、必ず入力していただきます。メールアドレスは、J-STAGEから受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力して下さい。全項目入力できましたら「次へ」をクリックして下さい。
7. [登録票／演題情報]の画面では、演題情報を入力

します。

「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。

パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。全て入力が完了しましたら、「確認」をクリックして下さい。不安がある箇所があれば「戻る」をクリックして前画面にもどって確認下さい。

* 演題名、要旨についてはWeb画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は、<I>、<SUP>、<SUB>、
を使用することができます。

8. 「確認」をクリックすると、[登録票／登録票入力確認]の画面が表示されます。登録内容に誤りがないことを確認して「登録」ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されましたら[登録票／登録完了]の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

＜補足説明＞

- ・投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックして下さい。
- ・登録が正常に行われましたら、J-STAGEから受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力して下さい。
- ・<タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認して下さい。
- ・登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申してください。

《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛にEメールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等によりEメールが未着の場合にも、3月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン4.0以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダーバージョン3.0の方は4.0にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛FAX (03-3253-3059) にて送信ください。Eメールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

今春季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守するとともに、トラブルがあった場合には、OHPシートによる発表に切り換えさせていただくことをご了承の上ご使用ください。なお、パソコン持参者のために切替器を準備しておりますので、併せてご利用ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ
- 2) パソコン（動画等を含むファイルを使用される場合には、ご自身のノートパソコンを使用されることを推奨します）
- 3) モニタ切替器

発表者の準備するもの

- 1) パワーポイントで作成した発表用のファイル（ISO9660形式）
メディアはCD及びUSBメモリーとし、ファイル名は次のように付けておいてください。
講演番号+発表者氏名.ppt
- 2) OHPシート

※休憩時間の間に液晶プロジェクタに接続したパソコンに、発表者ご自身で発表用のパワーポイントファイルをコピーしていただきます。

※トラブルがあった場合には、OHPプロジェクターによる発表に切り換えさせていただきますので、OHPシートも必ず準備しておいてください。

平成21年度春季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：科学に基づく溶接・接合技術のイメージング
－溶接アーク物理の追究－

座 長：中村照美（物質・材料研究機構）
上山智之（株）ダイヘン）

趣 旨：

アーク物理研究委員会は昭和39年（1964年）の設立以来、アーク溶接における物理現象の解明のために活発な議論ができる場を提供し、知識を共有できる場であることを特徴としてまいりました。その結果、多くのアーク物理現象の解析や解明が進み、これらは溶接・接合技術へと展開されてきました。言い換えれば、アーク物理研究委員会は科学（Science）から技術（Technology）への架け橋を担ってきたとも言えます。現在、溶接学会では委員会の見直しなど、新たな取り組みが始まっています。さらに、アーク物理研究委員会も新たな取り組みを始めようとしています。今後、予想される激動の時代において、アーク物理研究を溶接・接合技術にどう展開するかを考えることは、溶接技術の革新や、溶接学会の発展につながる重要なポイントであると言えます。

平成16年（2004年）のフォーラムでは「現象のビジュアル化」をキーワードとしました。アーク現象のビジュアル化は多くの知見をもたらしました。近年の計測機器やコンピュータの発展により多くの分野で「現象のビジュアル化」が進んでいます。「現象」を正確に理解し、実用化や技術（Technology）とするためには、科学（Science）の役割がより大きくなっていると言えます。

そこで、科学（Science）から技術（Technology）への架け橋を担ってきたアーク物理研究委員会が貢献してきた点はどうゆうものであったのかを振り返りながら、溶接・接合の「物理現象」が溶接・接合技術の「実用化」へどう展開されたかを考えます。今回は「科学に裏付けさ

れた理解とその応用」をより具体的に、直感的に理解するための「技術のイメージング」をキーワードとします。イメージングは「像」として可視化することに加えて、「溶接・接合の科学」を見える形（「実用化」）にするためにアーク物理研究として何を行ったか、その時のポイントは何かを討議し、アーク物理研究委員会の将来の活動のあり方と新たな活動の基盤を確認するために本フォーラムを計画いたしました。

記

予定討議内容：

1. GMA溶接の低スパッタ化と安定化に関してアーク物理の視点からの取り組みと展開
2. 溶融現象（溶融池、ワイヤ）の解析・制御に関しアーク物理の視点からの取り組みと展開
3. 溶接物理現象の解析・解明と溶接・接合技術への展開

日 時：平成21年4月22日（水）～24日（金）

会 場：アルカディア市ヶ谷（東京）

申込方法：著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX（03-3253-3059）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成20年10月31日（金）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成21年2月24日（火）

注）採択された講演者には、所定様式に従って作成した原稿を上記送付期限までに提出していただきます。提出していただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.84に掲載いたします。なお、講演時間は、1件約15分～30分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡いたします。

WEB掲載の溶接学会論文集26巻(平成20年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成20年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集26巻(平成20年度)

価 格：溶接学会会員特価7,500円/年1冊(税込)

送 料：500円(税込)

発行時期：平成21年1月下旬

送 付 先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-3253-3059

申込締切：平成20年11月30日

入金締切：平成20年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。定価 15,000円/冊 税込・送料別
会員以外の方の申込締切：平成21年3月31日

第36回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会&講演会)

IIW資格制度特認コース：J-ANB認定講座
ISO14731/WES8103溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座
「製鉄所見学および高張力鋼の適用と溶接」

主催：(社)溶接学会 東部支部
共催：(社)溶接学会 東部支部-千葉地区委員会
協賛：日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料学会,
日本鉄鋼協会, 日本鋼構造協会, ステンレス協会, 軽
金属溶接構造協会, 日本非破壊検査協会, 腐食防食協
会, 日本溶接技術センター, 日本工業出版, 産報出版
(順不同)

趣 旨：

高張力鋼は製品の軽量化・高強度化のために非常に重要な素材であり、近年は靱性の向上や、成形性や溶接性に優れた鋼板が開発され様々な分野に適用されています。本講座では、高張力鋼の製造ラインを中心として製鉄所見学を行うとともに、高張力鋼の特性に関する基礎的な解説に加えて、自動車産業や重工業への最近の適用事例や溶接施工法なども紹介します。

高張力鋼を製造している製鉄所の見学は他業種の方々にも大いに参考になると思われますので、できるかぎり幅広く多くの方のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：平成20年11月5日(水) 10:30~17:00

※受付開始10:00~

開催場所：新日本製鐵株式会社 君津製鐵所 展示ホール
(千葉県君津市君津1番地)

定 員：80名(先着受付順, 定員に達した時点で締め切らせて頂きます)

参加費：溶接学会員(賛助会員含む)9,000円,
非会員13,000円, 学生4,000円
(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切：平成20年10月22日(水)※参加費振込み締め切り

申込方法：必要事項(末尾の申込書式参照)を記入の上、電子メール、またはFAXで申し込み下さい。申し込み後、返信メールなどで仮参加受付を確認後、以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後、正式な参加受付確定としますので、原則として上記締切日までに振込み願います。(振り込み手数料は各自負担願います)

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店(支店番号:145)

普通預金 口座番号:2176706

名義:溶接学会東部支部

申込先：東京工業大学大学院 理工学研究科

国際開発工学専攻 高橋邦夫

e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp

Fax: 03-5734-3915 Tel: 03-5734-3915

受講ポイント：

- ①IIW溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計1.2ポイント
(モジュールM1:0.4pt, M2:0.4pt, M3:0.3pt, M4:0.1pt)
- ②ISO14731/WES8103溶接管理技術者
再認証クレジットポイント:2ポイント

プログラム：

- ①10:30~10:40 開会の挨拶(東部支部支部長)
- ②10:40~11:25 「高張力鋼の基礎、溶接性および適用例の紹介」

*IIWpt=M2:0.4(M2.1:0.4)

新日本製鐵株式会社 技術開発本部 鉄鋼研究所
糟谷 正 氏

種々の産業分野において使用される鋼板には、その環境、構造設計、デザインや組立方法などに応じて多様な特性が必要となる。今回、高張力鋼をとりあげ、その基礎的な特徴とその溶接性について紹介する。一般に、高張力鋼の溶接は、溶接割れ感受性が高い(割れ防止予熱温度が高い)、適正入熱量範囲が狭いなど、軟鋼に比べ制限される場合が多い。このような高強度鋼における特徴に加え、鋼材溶接性に関する一般的考え方、さらには、最近開発された高張力鋼を中心にその具体的適用例についても紹介する。

- ③11:25~12:10 「重工業における高張力鋼の適用と溶接」

*IIWpt=M3:0.3(M3.2:0.1,M3.3:0.1,M3.4:0.1)

+ M4:0.1(M4.2:0.1)

株式会社IHI 理事/技術開発本部
技監 中西 保正 氏

日本における高張力鋼の歴史は既に約70年になろうとしている。溶接構造物は多くの破壊事故も経験しており、製作時の溶接割れだけでなく、ぜい性破壊、疲労破壊などの供用中の損傷を含む多くの苦労を経て現在の「安全・安心」が確立されてきた。特に、造船、貯槽、橋梁、水門・水圧鉄管、その他構造物を対象とし、克服してきた技術と今後の課題について実例を挙げるとともに、現在進行中の国家プロジェクトを含めた最新技術も併せて紹介する。

- 12:10~13:00 昼食休憩(お弁当をご用意します。弁当代は参加費に含む。)

- ④13:00~15:45 新日本製鐵株式会社 君津製鐵所 見学会
13:00~13:15 君津製鐵所 全体概要の紹介
13:15~15:15 君津製鐵所 見学(高炉→熱延→厚板
→プラスチックリサイクル:120分)
15:15~15:45 見学 質疑応答

- ⑤15:45~16:30 「自動車分野における高張力鋼の適用とレーザ溶接」

*IIWpt=M1:0.4(M1.7:0.4)

株式会社レーザックス 三瓶 和久 氏

衝突安全性の確保、燃費向上のための軽量化等のさまざまな要求に対応するために、自動車への高張力鋼板の適用が不可欠なものとなってきている。高張力鋼板は、その適用が拡大するとともに、そのグレードも1,000MPaを超える超高張力鋼板の領域にまで広がっている。自動車への高張力鋼板の適用と溶接技術、そして、その課題についてレーザ溶接を中心に紹介する。

- ⑥16:30~16:50 質疑応答
- ⑦16:50~17:00 閉会の挨拶(東部支部副支部長)

■申込書式

第36回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会 & 講習会）申込書

（申込日： 月 日）

●受講者名（漢字&ふりがな）： _____

●会員資格（○をつけて下さい）： _____
・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員

●参加費請求書（○をつけて下さい）： _____
・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

●勤務先／通学先の連絡先

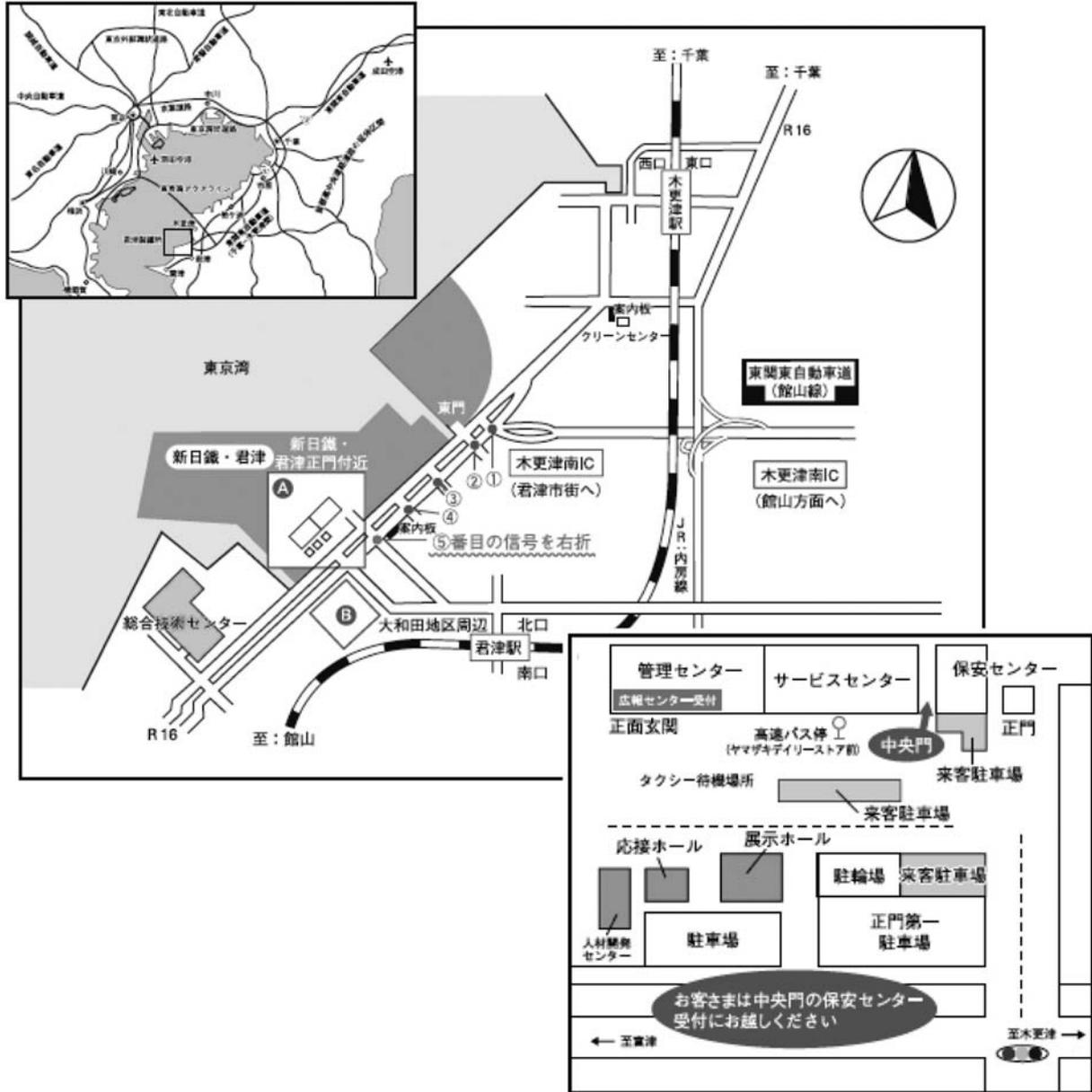
・住所： _____

・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____

■開催場所（新日本製鐵株式会社 君津製鐵所）案内図

交通：JR 内房線 君津駅より タクシーで10分 （別途地図参照）

東京駅八重洲口前から東京湾アクアライン高速バス 君津製鐵所前下車





溶接学会東海支部 第67回溶接研究会開催のご案内

研究会テーマ「軽量化対応接合技術」

1. 開催月日：平成20年10月2日（木）13:00～17:00
2. 開催場所：名古屋市工業研究所・管理棟・3F・第1会議室
名古屋市地下鉄「六番町」駅下車すぐ。
住所 名古屋市熱田区六番3-4
3. 講演題目と講演者：

- (1) 13:05～13:45 「チタンのMIG溶接技術」
大同特殊鋼株式会社 ○堀尾 浩次, 冷水 孝夫
- (2) 13:45～14:25 「ポピンツール方式FSWのロケットタンクへの適用」
三菱重工業株式会社 佐藤 広明
14:25～14:40 休憩
- (3) 14:40～15:20 「摩擦攪拌による軽量化のための異種材料接合技術」
豊橋技術科学大学 ○福本 昌宏, 宮川 堅
椿 正巳, 安井 利明

- (4) 15:20～16:00 「アルミとGA鋼板のMIG溶接」
住友軽金属工業株式会社 福田 敏彦
- (5) 16:00～16:40 「アルミと鋼のレーザーロール溶接」
光産業創成大学院大学 杳名 宗春
16:40～17:00 総合討論
東海支部副支部長 難波 圭三

定員100名になり次第締め切ります。

出席をご希望の方は、下記東海支部事務局（三重大学・川上）までお名前、ご所属、連絡先を明記の上、お申し込み下さい。

申込期限 平成20年9月26日（金）

E-mail jws@met.mach.mie-u.ac.jp

TEL/FAX 059-231-9474